

仙南けやき教室便り

④

「子どもを見守る」って？

「子どもを見守りましょう」という言葉を言われたり、聞いたことがあると思います。

笑顔が消えた子どもをみて、このままでいいのか、どう接したらいいかと悩んだり…。一方で、ゲームやスマホに夢中で、昼夜逆転の子どもをみて、イライラしたり…。焦りも加わり、「見守るなんて出来ない！」…という気持ちになってしまうでしょう。

「子どもを見守る」ということは、

親が「不登校でも大丈夫」と思えるかどうかだと思いのです。

それには時間がかかります。

なぜなら、学校に行かないことを受け入れることは、簡単ではありません。頭で分かったつもりでも、心は複雑でごちゃごちゃです。

「何がいけなかったのか」自分を責めて、涙がこぼれることもあるでしょう。

見守ることは、親が子どもを見守るのではなく、

子どもの状態を少しずつ受け入れていって、

「そうだよね」と思えるかどうかということ。

そして、見守るの心になること。

次回に、具体的にお話ししたいと思います。

最近のけやき教室

卒業生から「人生ゲーム」の
プレゼント。
みんなで遊ぶとコレが面白い！
人生山あり。谷あり。
つらいときもあるけど、
まさかの大逆転もあり。

